

荒川ハンノキプロジェクト

荒川ハンノキプロジェクトは、埼玉県の大規模「ミドリシジミ」のために、三ツ又沼ビオトープにハンノキの林を取りもどすプロジェクト。現在、川島町立出丸小学校、上尾市立太平洋中学校、川島子どもエコクラブの子どもたちが、種子から苗を育てて荒川に植えもどす取り組みを行っています。

野外授業と室内での講話を行いました

環境サポーターが、出丸小学校と太平洋中学校の児童生徒に現地指導や講話を行いました。

出丸小学校 5年生・6年生 - 10月30日(水)

3回目となる今回は、三ツ又沼ビオトープで、4グループに分かれて自然観察をしました。

5年生は、初めて訪れた三ツ又沼ビオトープに興味しんしん。6年生は、台風の影響で去年と様子が違う三ツ又沼ビオトープに驚いていました。

1. 飛び立ったカタテハを観察(6年生)
2. 三ツ又沼ビオトープができた理由を説明(5年生)
3. ハンノキプロジェクトについておさらい(5年生)
4. スズメバチの説明(5,6年生)



太平洋中学校 科学部

- 10月25日(金)

環境サポーターが、カヤネズミや外来植物*1 について説明。「(外来植物の) オオブタクサは7mにもなる」というお話に「そんなに大きくなるの!？」とみんな驚いていました。



*1 外来植物：外国から日本に持ちこまれた植物



【三ツ又沼ビオトープ】

上尾市と川越市、川島町のさかい目にある、荒川の豊かな自然が守られている場所です。

【環境サポーター】

荒川の豊かな自然が残されている三ツ又沼ビオトープを守る保全管理作業や自然学習の指導をしている市民の方々です。サポーター事務局(荒川上流河川事務所)にて登録しています。

色々な方々が関わっています

学
校

埼玉県立いずみ高等学校

三ツ又沼ビオトープの野草を育てる実験*2について、校内と校外で経過報告を行いました。



校内での中間発表－8月27日(火)

環境サポーターやサポーター事務局にむけて、実験にかかわる生徒より中間発表がありました。発表に対して、環境サポーターから今後の実験の仕方などアドバイスや感想が述べられました。

「高校生によるサイエンスフェア」(主催埼玉県教育委員会ほか)でのポスター発表－11月10日(日)

埼玉県内の高校生が日頃研究していることを発表するサイエンスフェアで、いずみ高校の生徒が三ツ又沼ビオトープの野草を育てる実験について発表しました。なぜ野草を育てて植える必要があるのかなど、一生けんめい質問に答えていました。



育てている野草

*2 三ツ又沼ビオトープの野草を育てる実験：在来植物(日本にもともと生える植物)を積極的に増やし、外来植物の増加をおさえることを目的とした実験

企
業

パタゴニア東京・神田店－11月2日(土)

スタッフ有志が保全管理作業に参加し、外来植物の除去などを行いました。

三ツ又沼ビオトープ トピック

タカの仲間を見つけました
10月30日(水)



「カー カー」という声につられて空を見上げると、タカの仲間のノスリがカラスに追いかけてまわっていました。最後は、攻撃しようと近づくカラスをすりとよけて、ノスリは空高く飛びさっていきました。